

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	アグリファームしっぽの里
住 所	浜松市浜北区豊保309-2
電話番号	053-588-3730

事業所番号	2217260062
管理者名	鈴木公彦
対象年度	令和2年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所：弊社の利用権設定を結んだ農地 浜北区豊保284-1 1834㎡ ・実施日程：定植日 令和2年8月1日 収穫開始日 9月1日 収穫終了 10月16日 ・生産活動：浜松モリンガの栽培及び加工 ・参加利用者数：事業所の本来の生産活動（青梗菜等）の合間を縫っての参加で5～10名 	<p><活動の様子></p> <p>モリンガ栽培圃場の全景 長雨で定植が遅れたが 1ヶ月程で2メートル位に 生育した。</p>  <p>収穫の様子 葉の付いた脇枝を収穫。 作業は鎌で切る採るのみで 利用者でも簡単である。</p> 
<p><目的></p> <p>現在の生産活動の青梗菜・パクチー・空心菜等の野菜だけではなく、加工品として商品化できるモリンガの栽培が利用者の多様な働き方と賃金向上に繋げる目的。 また、地域の耕作放棄地の解消や地域の産地化による地域発展を目指す目的も併せ持つ。</p>	<p>葉の収穫 枝から葉をとる作業 コツを掴めば利用者でも 熟せる作業です。</p> 
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果：浜松市の気候でも問題なく栽培が可能で収量も見込める。 ・成果：収穫した葉を乾燥し粉末状に加工、製品化に繋げる事ができた。 ・問題点：収穫した枝から葉を採る作業が手作業で人数が必要、採った葉をその日の内に乾燥業者に持ち込まなければいけない事。 	<p>製品の販売 加工して製品化した商品、連携者はネットでの販売や委託販売やイベントで販売している。 写真は自社B型店舗での販売もしている。</p> 

連携先の企業等の意見または評価

評価：沖縄でのA型事業所と連携して栽培を行ってきたが、地元浜松に帰り浜北区宮口で自身でモリンガを栽培し販売を行っていたが、規模拡大も含め沖縄での経験を活かしたく地元のA型事業所にお声させて頂いた。
グリーンマッシュさんは元々農業を営んでいたことから栽培に期待をして連携をお願いした。
結果として、栽培は期待以上の生育で浜松でも問題なく栽培が出来ると分かった。

今後の連携強化：栽培に関しては問題が無いので、今後は生産者を増やすことで栽培面積の拡大に繋げて行けるか、また、浜松モリンガとして協議会等のグループ化をし産地化を目指していき、新商品開発も含め市場マーケットへの広報活動が重要な課題と考えている。

連携先企業名	オキメモ Okinawa memorial	担当者名	川合 敏孝
--------	-----------------------	------	-------